

初春や思ふことなき懐手

皆さま、明けましておめでとございます。

この数年、年賀状に好んで書き加えるこの句は、枯れた老境の人の句に思えますが、35歳で天逝した金色夜叉の作者・尾崎紅葉の作句です。高利貸しになる貫一がお宮に言うセリフは今でも有名ですが、昨年のライブドア事件などを思うと、最近の日本には、貫一の影も薄くなるほどの拝金主義が蔓延しているように思います。その反省と批判が「品格」を流行語にしましたが、今年が品格元年になるよう祈りたいものです。

身体表現性障害

身体表現性障害とは耳慣れない言葉ですが、最新の米国精神医学会の分類の中にある病名で、日本でも歯科にかぎらず各科で注目されている疾患です。この障害は、どのような検査をしても器質的な異常が認められないにも関わらず、「原因不明の持続性の激しい歯痛や舌痛」を執拗に訴えたり、「咬み合わせの異常感」や「歯ならびや顔貌に対する異常なこだわり」を示すもので、自覚的な身体症状があり日常生活が妨げられているものの、それを説明する身体疾患や何らかの薬物の影響、他の精神疾患などが認められ

ひるまだより 2007.01 vol.13
医療法人 ひるま矯正歯科 Hiruma Orthodontic Office
今号は、治療の経過を振り返る再評価と再評価後に行なうポジションチェンジについて説明します。詳細はH2Aをダウンロード。

再評価とポジションチェンジ
ドキュメンタリー・矯正治療

再評価を行なう理由
肉眼では見る事の出来ない骨の中の歯(歯根)の位置関係(ルートパラレルングやトルク)などはX線写真や口腔内模型で確認しなくてはなりません。ひるま矯正歯科ではX線写真や口腔内模型を用いた再評価はアンテリアルトラクション終了時に行ないます。

再評価するのは次の3つ
1 開始時の治療計画と大きなズレがないか
正常な大きさよりも小さい側切歯を形態修正せずにスペースを閉鎖した状態
再評価した結果、このドキュメンタリー矯正治療でも治療計画に変更がありました。
正常な大きさよりも小さい側切歯の形態を修正せずにスペースを閉鎖しました。これは患者と相談した結果「できるだけ歯を削りたくない」といった希望があったからですが、そのまま歯を動かす動的治療を終了すると、動かした歯を安定させる保定期間中にスペースがでてしまう可能性があるため、その際にはレジンやセラミックで形態修正する事としました。

2 スペースが閉じた状態で、噛み合わせが安定しているか?
歯冠は舌側に歯根尖は頬側に位置している事が分かる
下顎前歯が上顎前歯に対して後方に位置する出っ歯の状態となっています。また、下顎前歯が舌側に傾斜した事から歯の根の先端部(歯根尖:しこんせん)が下顎骨の中央より唇側に位置しています。これらの問題点は今後の治療ステップ(アイデアルアーチ)で改善し、仕上げていかななくてはなりません。
<頭部X線規格写真の重ね合わせ>
黒いライン:初診時、青いライン:再評価時

3 顎骨の中の歯根の位置関係(ルートパラレルング、トルク)に問題は無いのか?
<理想的なルートパラレルング>
矯正治療後の歯並びや噛み合わせの安定性を考えた場合、顎骨内の隣合う歯根と歯根が接近し過ぎず、できるだけ平行に近く配列しながら噛み合わせを上げる事が大切です。このように歯根の接近を防ぎ平行性を保つ事をルートパラレルングと呼びます。今回は、上顎の第1大白歯と第2小臼歯の歯冠部が近接し歯根部が離れています。これは、アンカーロスによりアンカレッジコントロールが崩れたわけではなく、歯軸に対するブラケットの位置(ブラケットポジション)が悪かったためと考えました。
再評価の結果行う事: ポジションチェンジ+再レベリング
ルートパラレルングが出来ていない歯のブラケットとバンドを外し、ブラケットとバンドのポジションを変えました。

再評価の結果行う事: ポジションチェンジ+再レベリング
ルートパラレルングが出来ていない歯のブラケットとバンドを外し、ブラケットとバンドのポジションを変えました。
一直線だったスロットに角度が付きました。新しいポジションのブラケットとバンドにワイヤーをセットし、再レベリングしている所です。
ポジションチェンジした部分のワイヤーがたわんでいるのが分かります。

安倍総理大臣の祖父が岸信介元首相であることはよく知られているところです。岸さんは首相在任当時「出っ歯の岸さん」と呼ばれ、政治漫画では、前突した前歯とオトガイのない顔貌がことさら強調されて描かれたものです。
岸さんは養子に出たため姓は異なりますが、後に長期政権を担った佐藤栄作元首相とは実の兄弟です。「政界の団十郎」といわれた佐藤栄作も、最初は出っ歯だったと最近知りました。「栄作さんは出っ歯のほうが愛嬌があった」というのは、行きつけの床屋の内緒話である、と番記者が回顧録に書いています。安倍総理が矯正治療をしたかどうかは知りませんが、安倍さんの顔は岸さんより佐藤さん似だと、総理の顔をテレビで見るとびに昭和の人間は思います。
その安倍さんが若くして総理大臣になったのは、北朝鮮外交での毅然とした姿勢に、国民が喝采したことが後押ししたのは確かです。新潟県佐渡の准看護婦だった曾我ひとみさんが、北朝鮮の作業員によって拉致されたのは、1978年8月12日のことでした。ひるま矯正歯科が当ビル5階で産声を上げたのは、まさにその年の7月21日ですから、開業当初の心象や日差しの強さなどは今でもはっきり記憶に残っています。
2002年10月、曾我ひとみさんが日本に帰還しました。このとき、歯科界に限らず一部の新聞やネット上では、曾我さんの歯の悪さが話題になりました。矯正歯科のある会合で、招待者だった政治家が「歯は文化のパロメーターである」と述べたのを聞いて、その観察眼と表現に感心したものです。曾我ひとみさんの歯が普通の日本人並になったのは、その後もまもなくのことでした。
治療を行なうことによって、一層症状に固執するともに症状は悪化するものです。診断と治療は精神科(神経科、心療内科等)に委ねなければいけません。
質問コーナーへの投稿者やセカンドオピニオンでの来院者に、この身体表現性障害を疑われる方が数パーセントは存在するとみています。

ヒルマトキオのハッとひと息